



Title	大阪大学文書館設置準備室だより 第4号
Author(s)	
Citation	大阪大学文書館設置準備室だより. 2009, 4
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/3490
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪大学 文書館設置準備室だより

第4号

2009.3.31

目次

医学部附属医院石橋分院本館……	1	受贈刊行物……………	5
大阪大学の歴史から学ぶもの 阿部武司……………	2	業務日誌（抄）……………	11
大学改革と大学文書館 菅 真城……………	3	『大阪大学の歴史』が刊行されました ……………	12
		大阪大学文書館設置準備室員名簿	12



医学部附属医院石橋分院本館

大阪大学には二つの国の登録有形文化財があります。一つは本誌前号で紹介したイ号館。もう一つは2007年に登録された待兼山修学館です。待兼山修学館は、1931（昭和6）年10月に大阪帝国大学医学部附属医院石橋分院本館として竣工しました。鉄筋3階建、2,428.8㎡の建物です。1968年からは医療技術短期大学部本館として使われました。

その内部は、2006-2007年度に大改修され、現在は総合学術博物館の展示場となっています。昭和初期のモダニズムを今に伝える建物であるとともに、博物館として大阪大学の活動を社会に発信しています。

（菅 真城）

大阪大学の歴史から学ぶもの

大阪大学文書館設置準備室長 阿部武司

様々な意味で社会の変化が激しい昨今、「古いことなどどうでもよい。大切なのは現在と未来だ。歴史研究などは一部の好事家の道楽にすぎない」と考える人が今の日本人には少なくないように思われる。しかしながら、私たち個々人の歩みを思い浮かべてほしい。意識するにせよしないにせよ、両親や知人などからの伝聞や自分自身の経験が、ある個人の現在を形成している。学校などで習得した知識も、われわれの祖先が後世に残してくれたものである。すなわち、過去の知識や記憶が基礎となって現在の自分があるのであり、さらにいえば将来の指針もそれらに基づいてはじめて立てられるのではないだろうか。個人に限らず、企業や大学などの組織、さらには国家の場合でもことは同様である。困難に直面したとき、十分考えるゆとりもなく周囲に追隨して右往左往しつつ、結局は時間を無駄に費やしてしまいがちな近日、一息ついて先人の知恵に学ぶことは大いに有益なのである。温故知新という格言は現在のような激動期にこそ重みを持つものと思われる。

日本人は国際的にみて、過去のことは「水に流す」という文化の中で生きているようである。しかし世界では、栄光に満ちたことであれ反省すべきことであれ、過去の出来事を絶えず思い出し、それらを現在そして未来に生かすことに努めている国々が少なくないのである。欧米先進国のみならず中国や韓国などでも過去の記録を文書館にきちんと残しているのであり、そこに保存された、信頼するに足る資料に基づいて歴史を記述することがしばしば伝統となっている。昨今の教科書問題などで、中国や韓国から寄せられた、戦前・戦中における日本の侵略行為に対する批判に日本政府が適切に対応できないのも、自国の過去に関する思索が日本人には希薄であるという重要な問題を示している。

さて、大阪大学のルーツが懷徳堂と適塾にあることは阪大関係者には共通の認識となっている。しかし、これら2つの学校がその後、大阪大学にどのようにつながっていったのか、さらに、現在の阪大で進められている世界最先端の研究に、それらがいかんにして結びついているのかを問われた時、多くの阪大関係者は明快に答えられないのではないだろうか。

大坂商人が享保年間に設立した懷徳堂は、幕末・明治維新期に衰退して消滅したのち、大正年間に西村天因等によって重建懷徳堂として再建されたものの、太平洋戦争末期の空襲で壊滅した。戦後、1949年に阪大文学部が創立された際、奇跡的に焼け残った重建懷徳堂の蔵に残されていた漢籍類をはじめとする資料が阪大に継承されることになり、その後現在の文学研究科および附属図書館によってそれらが管理されている、というのが阪大と懷徳堂との関連である。適塾については、明治初年にそれが消滅したのち、大阪に設立された医学校に緒方洪庵の子息惟準(これよし)をはじめ、適塾で学んだ有志が教員として奉職し、同校がその後大阪府立医科大学を経て大阪帝国大学医学部につながっていったというのが大筋であろう。ただし、大阪医学校における教育の主力は、適塾関係者というよりはむしろボードウィン、エルメレンス、マンスフェルトという3名のお雇い外国人であった。また、適塾が、医学者もさることながら福沢諭吉、大村益次郎、橋本佐内などの思想家や政治家を輩出した事実にも注目しなければならない。このように見えてくると、懷徳堂および適塾と阪大とのつながりは必ずしも直接的ではないといえそうであるが、2つの学校で培われた自由闊達な学問の精神、あるいは、お上に頼らず、おもねらない風風が阪大に継承されているとされているのであろう。

しかし、「そうした懷徳堂と適塾の精神に支えられて、現在の阪大の世界最先端の研究があるのだ」と言いきるのに、私はまだためらいを感じる。両者の間に存在した夥しい史実についての、とりわけ大阪帝国大学成立以降に関する知識が関係者にあまりにも欠けているからである。大阪大学に在籍する教職員および学生は、阪大自体の歴史を学ぶことがいま必要であろう。懷徳堂と適塾と現在の阪大とのつながりを知ることもちろん大切ではあるが、それ以上に阪大設立前後にすぐれた研究・教育がいかんになされてきたのかをきちんと認識してはじめて、自分の学校・職場に対する誇りが得られよう。さらに教職員は、過去に先輩たちが、大学運営

にかかわる様々な困難をいかにして克服してきたのかをみることによって、阪大の将来に対する具体的な指針を得られよう。人間は過去にも現在と同じような難問に案外と当面しているものであり、その都度知恵を絞って前進していくものなのである。過去に発生した重要な事実を記した資料を残すための機関である文書館の設立は、阪大に関する正確な歴史を知る上で不可欠な措置であり、大阪大学文書館設置準備室はそれへの準備を着々と進めている。

大阪大学の歴史に関しては、1980年代に世に出た2冊の立派な50年史をはじめ、いくつかの書物がすでに出版されているものの、それらを通読した人は少なからう。多忙な今日、大部な大学史などが刊行されても、しばしば置物にされるだけで、それらを真面目に読んでくれる人は多くない。そうしたなかで、数年前から阪大では全学共通教育科目として「大阪大学の歴史」が開講されている。各部局の教員および名誉教授が1-2回ずつトピックを講義していく形で進められるこの科目は、当初、高杉英一大学教育実践センター長（当時。現理事・副学長）が同センターの企画として力を入れてこられたが、本年度からは文書館設置準備室がその取りまとめをさせていただくことになった。

この科目は、毎年度100名程度の受講者から幸いにして好評を得ているが、このたび文書館設置準備室は、高杉先生のご指導の下で、授業では言及できなかった学部に関する記述を補い、上記の50年史よりもはるかに簡便で、最近の状況までも記した教科書『大阪大学の歴史』を編集し、大阪大学出版会から刊行してもらうことになった。大阪大学に在籍する教職員・学生、さらには阪大に関心を持つ学外の読者に、本学の歩みを簡潔に伝えてくれる読みやすい書物として、それが広く愛読されることを心から願っている。さらに、同書に記された内容をさらに詳しく知りたいと思う方が、上記の50年史などを図書館で読んでくれることも期待している。

大学改革と大学文書館

大阪大学文書館設置準備室講師 菅 真城

1. 大学文書館論は大学改革論

近年、国立大学で文書館（アーカイブズ）の整備が進んでいます。旧制帝国大学7大学のなかで、文書館的施設がないのは大阪大学のみになりました。大学文書館の整備と軌を一にして、大学文書館論に関する研究も盛んになってきています。

立教学院本部調査役で東京大学名誉教授の寺崎昌男氏は、「日本でこれまで筆者その他の大学関係者が唱えてきた大学アーカイブス論は、沿革史編纂作業の始末論という趣を持っていた。だが、現在および将来のアーカイブス論は、とりもなおさず大学改革論であり、また個別大学がサバイバルを超えて大学らしく発展するための提案でもある。」（『大学アーカイブスと大学改革』『大学教育の可能性－教養教育・評価・実践－』東信堂、2002年、初出2001年）と述べられています。寺崎氏は大学史研究の大家で、かつて東京大学百年史編集委員長を務められました。そして『東京大学百年史』編纂完了後、東京大学史料室設置（1987年）に尽力され、初代室長に就任されました。この段階での大学アーカイブズは「沿革史編纂作業の始末論」であったが、現在のそれは「大学改革論」であるということです。

2. 大学運営に不可欠な大学文書館

大学改革を行うためには、その目標を設定しなければなりません。この目標は突然わいて出るものではなく、これまでの大学の歩みを振り返り、その課題を析出した上で、今後大学をどうするかについて見定めなければなりません。大学についての歴史的分析が不可欠なのです。そのためには、自分の大学の記録を適切に整理・保存し活用する必要があります。その機能を担う組織こそ、文書館なのです。

また、大学改革が求められたのは、何も現在に限ったことではありません。新制大学発足時、大学紛争時、大学設置基準大綱化時など、これまでの大学は不断に改革に取り組んできました。大学改革案の策定には、多くの教員・事務職員の多大な労力が割かれます。一から改革案を作るとなると、それに割かれるエネルギーは莫大なものになります。しかし、時代は変われど、大学改革案には共通する部分が多くあります。同じ議論が時を経て繰り返されていることが非常にたくさんあります。こうした無駄を省けば、大学改革はよりスムーズに進めることができ、教員は教育・研究に専念できるようになります。そのためには、過去の改革について、廃案となったものも含めてその策定過程や交渉過程などについて適切に記録し、それを整理・保存しておかなければなりません。次回の改革案策定にあたって過去の記録を活用することによって、改革案策定のために割かれる時間と労力を省力化することができます。そのためには、文書館で過去の記録が適切に管理されていることが必要です。さらに一步進んで、文書館が大学のシンクタンクとなることも考えられます。

現在の大学には、自己点検・評価や外部評価が求められています。これらの際にも、文書館の記録を活用することによって、作業を効率化することができます。

法人化後は、中期目標・中期計画の策定が義務づけられました。中期目標の冒頭には大学の理念が記載されますが、これは大学の歴史を踏まえて設定される必要があります。そのためには、過去の記録に基づいて、大学の理念について不断に検証される必要があります。そして、中期目標・中期計画自体、それまでの大学の歩みと無関係に設定できるものではありません。正確な記録に基づいた歴史の流れのなかに位置づけた新たな目標・計画でなければなりません。このようにみえてくると、文書館は、大学改革をはじめとして大学運営に不可欠な組織であることがご理解いただけるのではないかと思います。

3. 大学文書館の理念

ここで、大学運営に不可欠な大学文書館とは、どのような理念に基づく組織なのかを確認しておきます。

日本初の本格的大学文書館と評されている京都大学大学文書館の西山伸氏は、大学文書館の理念について「現在に至る大学の機関としての営みを表す記録を適切に管理することで、大学内外の研究・教育および大学の管理運営に寄与し、そのことを通じて社会に貢献すること」と述べられています（『京都大学大学文書館－設置・現状・課題－』『研究叢書第3号 大学アーカイブズの設立と運営－2001年度総会および全国研究会の記録 於・神奈川大学－』全国大学史資料協議会、2002年）。また、九州大学大学文書館の折田悦郎氏は、大学アーカイブズを「大学が生産（授受）した事務文書を中心に収集し、それを学内外の利用に供するとともに、大学自身のアカウンタビリティ、アイデンティティの“場”となる全学的な組織」と位置づけられています（『国立大学アーカイブ私論－現状と課題－』『大学アーカイブス機能についての基礎的研究－「大学改革」との関連において』（平成14・15年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成果報告書）、2004年）。この西山・折田両氏の見解はすぐれた大学アーカイブズ理念論であり、筆者もこれらの研究を継承・発展させていくことが必要であると考えています。

国立公文書館特別参与で筑波大学名誉教授の大濱徹也氏が言われるように、「過去の栄光にただすがりつき、懺がはえた歴史を金科玉条とするのではなく、明日をつくる糧としての歴史を生むために、大学アーカイブズは必要なのです」（『アーカイブズへの眼－記録の管理と保存の哲学－』刀水書房、2007年）。

文書館論に造詣の深い沖縄県公文書館の富永一也氏は、このような大学文書館をめぐる研究に対して、以下のようにコメントしています。「大学アーカイブズをめぐる議論で印象的なのは、大学アーカイブズ設立の理念が、大学改革や大学の社会に対するアカウンタビリティと結びつけて語られていることである。これらは、目的理念たるにじゅうぶんな時代感覚と社会性を備え、しかも足下に諸機能を従える抽象性を具している。

また、それ以上に、これらはすぐれた組織論、つまり組織発展の戦略でもある。そもそも、アーカイヴズ事業が、その組織の記録を対象とし、組織の興隆や衰亡とも関係するからには、アーカイヴズ理念論は、またすぐれた組織戦略論でなければならない（「われわれのアーカイヴズ」『京都大学大学文書館研究紀要』2、2004年）。また、小樽商科大学百年史編纂室の平井孝典氏によると、フィンランドでは、文書館のない国立大学は消滅統合される予定だそうです（「アーカイヴズのない国立大学は消滅統合へ 晩冬のフィンランド訪問」『京都大学大学文書館だより』15、2008年）。このことは、文書館が大学運営の根幹に関わる組織であることを端的に示しています。

4. 厳しい時こそ文書館を！

法人化後の国立大学は、毎年運営費交付金が減額されるなど、厳しい状況におかれています。そして、不断の大学改革が求められています。大阪大学も例外ではありません。しかしながら、大学をめぐる状況が厳しい今だからこそ、大学改革を行わなければならない今だからこそ、大阪大学に文書館が必要なのです。

受贈刊行物（2008年8月～2009年2月）

大阪市立大学大学史資料室

大阪市立大学史紀要 第1号

小樽商科大学百年史編纂室

緑丘アーカイヴズ 第8号

追手門学院大学

追手門経営論集 第14巻第1号、追手門経済論集 第43巻第1号、追手門学院大学国際教養学部紀要 第2号、将軍山会館（リーフレット）

学習院大学大学院アーカイヴズ学専攻

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイヴズ学専攻（リーフレット）、学習院大学大学院 アーカイヴズ学専攻設置記念講演会・入試説明会（チラシ・ポスター）

神奈川大学大学資料編纂室

教育は人を造るにあり 米田吉盛の生涯

金沢大学資料館

金沢大学資料館だより 第32号、平成20年度金沢大学資料館・附属図書館特別展 うけつがれた「モノ」たちー明治・大正・昭和の掛図・模型ー（ポスター）

京都産業大学

Sagittarius 京都産業大学通信 Vol.41～42

京都大学大学文書館

京都大学大学文書館だより 第15号、京都大学大学文書館企画展「京大吉田キャンパスの形成」（チラシ）、「戦前の学生生活ー創立からの1930年代までの京都帝国大学ー」企画展（チラシ）

慶應義塾福澤研究センター

福澤研究センター通信 第9号、近代日本研究 第25巻、慶應義塾創立100周年 未来をひらく福澤論吉展（チラシ）、慶應義塾入社帳 第一～五巻 索引、慶應義塾百年史 上・中・下巻・付録・別巻（大学編）、創立百二十五年 慶應義塾年表、慶應義塾福澤研究センター資料（4）三田演説会資料、慶應義塾福澤研究センター資料（11）アジア太平洋戦争における慶應義塾関係戦没者名簿、BIRTH OF THE UNIVERSITY SECTION IN KEIO GIJUKU 慶應義塾大学部の誕生、図説・慶應義塾百年小史 1858-1958、慶應義塾福澤研究センター資料（9）「慶應義塾社中之約束」（影印版）、「慶應義塾 125年」、「未来をひらく福澤論吉展」（チラシ）

皇學館館史編纂室

皇學館大學百二十六年の軌跡、第4回皇學館館史編纂室資料展展示目録

神戸国際大学

現代観光のダイナミズム、神戸国際大学紀要 第75号、神戸国際大学経済経営論集 第28巻第2号

神戸女学院史料室

学報 No.154

成蹊学園史料館

成蹊学園史料館年報 2007年度

大東文化歴史資料館

第6回企画展「大東文化学院創設をめぐる人々(Ⅱ)～大木遠吉と大東文化協会～」(チラシ)、大東文化歴史資料館だより 第5号

東海大学学園史資料センター

展示会「建学の地、清水」、東海大学学園史ニュース No.3

東京大学史料室

東京大学史料室ニュース 第41号

同志社大学同志社社史資料センター

第34回Neesima Room 企画展記念シンポジウム「早稲田と同志社」(チラシ)、第35回Neesima Room 企画展「早稲田と同志社」(チラシ)、第36回Neesima Room 企画展「早稲田と同志社」(パンフレット)、第37回Neesima Room 企画展「早稲田と同志社」(ポスター)

東北大学史料館

東北大学史料館 企画展「教養」のゆくえ-東北大学教養部の模索- (ポスター)

東洋英和女学院

学院誌「楓園」 No.53～55、史料室だより No.71

東洋大学井上円了記念学術センター

井上円了センター年報 Vol.16

長崎大学総務部総務課

広報誌CHOHO Vol.25

日本女子大学成瀬記念館

成瀬記念館 2008 No.23、日本女子高等教育の父 成瀬仁蔵 あなたは天職を見つけたか、日本女子大学成瀬記念講堂-創立者の夢と明治の洋風建築-

日本大学資料館設置準備室

覺誌 第4号 特集 大学史の多面性

広島大学高等教育研究開発センター

RIHE International Seminar Reports No.12

広島大学文書館

証言大学紛争、花は想う人の側に咲く -浜本万三回顧録-

福岡大学大学史資料室

福岡大学大学史資料集 第二集

武蔵学園記念室

追想 正田建次郎先生

立教大学全学共通カリキュラム運営センター

立教学院の歩いてきた道、自校教育の到達点と今後の課題

全国大学史資料協議会

研究叢書 第9号 創立記大学史資料の特色

全国大学史資料協議会東日本部会

大学アーカイブズ No.39

全国大学史資料協議会西日本部会

全国大学史資料協議会 西日本部会会報 No.25

愛知県公文書館

愛知県公文書館だより 第13号

天草市立天草アーカイブズ

本渡市古文書史料集 天領天草大庄屋木山家文書御用触写帳第2～7巻・万覚第1～3巻、天草市歴史資料調査報告書 第1集 肥後国天草郡本戸馬場村 木山家文書目録・第2集 肥後国天草郡宮地岳村 中西本家文書目録・第3集 肥後国天草郡下浦村 大塚家文書目録・第4集 肥後国天草郡下河内村・都呂々村 佐藤・酒井家文書目録

尼崎市立地域研究史料館

地域史研究-尼崎市立地域研究史料館紀要-第38巻 第1号

岡山県立記録資料館

岡山県立記録資料館だより 第4号、岡山県立記録資料館年報 平成19年度

神奈川県立公文書館

平成19年度 神奈川県立公文書館 年報、神奈川県立公文書館だより 第20号

京都府立総合資料館

京都府行政文書を中心とした近代行政文書について
の史料学的研究、第23回 東寺百合文書展-南北朝期
の群像-(チラシ)、総合資料館だより No.157～158、総
合資料館収蔵品展(チラシ)

国立公文書館

アーカイブズ 第33～34号、国立公文書館年報 第37
号 平成19年度

寒川文書館

寒川文書館だより Vol.1～4

東京都公文書館

東京都公文書館だより 第13号

徳島県立文書館

徳島県立文書館年報 第11号、徳島県立文書館研究
紀要 第5号、芭蕉をめざした男 ―酒井弥蔵の旅日記

栃木県立文書館

文書館だより 第42～44号、学校教材史料集 第4号、
栃木県立文書館 研究紀要 第12号、栃木県立文書
館 平成19年度年報 第22号、目録 第37集 栃木県
史料所在目録

広島県立文書館

広島県立文書館だより No.32、広島県立文書館資料
集5 村上家乗 元治元年・慶応元年

福井県文書館

福井県文書館年報 第5号、文書館だより 第12号

福島県歴史資料館

福島県史料情報 第22号、福島県歴史資料館 平成
20年度収蔵資料展 新公開史料展2008、ふくしま 文
化遺産保存ネットワーク

松本市文書館

松本市史研究 松本市文書館紀要第18号

山口県文書館

山口県文書館研究紀要 第35号、行政文書件名目録
1 山口県布達達書Ⅰ -明治4～10年-、山口県文書
館諸家文書目録 8、年報 平成19年度、文書館ニュー
ス No.42

大阪大学総務部評価・広報課広報・社会学連携事務局

阪大ニューズレター No.42

大阪大学総務部企画推進課

大阪大学医学部附属病院 要覧 2008、Handai
Hospital 阪大病院ニュース 第31号、阪大ニューズレ
ター No.41、平成18年度 全国大学一覽、競争的資金
等ハンドブック-正しく理解し、正しく使うために、阪大
NOW No.106～108、大阪大学 学報 No.456～462・464
～470・472～481・486～494・496・498～527、大阪大学
学報 自 第420号 至 第455号・自 平成元年 至
平成3年、大阪大学学報・阪大NOW 自 第528号 至
第532号(大阪大学学報)自 第1号 至 第21号(大阪
大学学報)自 第1号 至 第19号(阪大NOW)自 平
成10年 至 平成11年、大阪大学学報・阪大NOW 自
第22号 至 第45号(大阪大学学報)自 第21号 至
第43号(阪大NOW)自 平成12年至 平成13年、大阪
大学学報・阪大NOW 自 第46号 至 第69号(大阪
大学学報)自 第44号 至第67号(阪大NOW)自 平
成14年 至 平成15年、大阪大学学報・阪大NOW 自
第70号 至 第93号(大阪大学学報)自 第68号 至
第86号(阪大NOW)自 平成16年 至 平成17年、大
阪大学環境報告書2008 ダイジェスト版、Ground Plan
Osaka University(冊子)

大阪大学研究推進部研究推進課

第一回 革新的研究教育基盤機器開発整備事業なら
びにリユース研究教育基盤機器整備報告会(ポス
ター)、博士学位論文 第90～91集

大阪大学国際部国際交流課

大阪大学 PROSPECTUS 2008 英文、大阪大学
PROSPECTUS 2008 英文 ダイジェスト版

大阪大学国際部国際連携課

大阪大学グローバルコラボレーションセンター2007年6
月(リーフレット)、大阪大学グローバルコラボレーション
センター2007年11月(リーフレット)大阪大学グローバル
コラボレーションセンター2007年11月(リーフレット)英
文、英文 研究年報 ANNUAL REPORT OF
UNIVERSITY -Academic Achievement- 2007-2008

大阪大学財務部資産決算課

平成17事業年度 国立大学法人大阪大学 財務レ
ポート2006(リーフレット)、平成18事業年度 国立大学
法人大阪大学 財務レポート2007(リーフレット)

大阪大学学生部学務課

キャンパスライフ 2008、大阪大学教職課程ブックレット
②未来の教師への歩み 教育実習ノート・④介護等の
体験ガイド 体験ノート、平成19年度第8回 課外研究
奨励費成果報告書

大阪大学学生部入試課

PROSPECTUS OSAKA UNIVERSITY '99

大阪大学免疫学フロンティア研究センター

世界トップレベル研究拠点 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 概要、Kick-off Symposium of WPI Immunology Frontier Research Center Osaka University 2008.3.27-28

大阪大学附属図書館

Current News 49～53、大阪外国語大学附属図書館 図書館利用案内 1983・1986・1988・1990～1991・1993～1994・1996～2007、AV JOURNAL 創刊号～35号、官報 No.1～4、LIBRARY INFORMATION 創刊号・特集号・第2・4～16・17号・特別号・第18号(WEB版)、大阪外国語大学附属図書館、大阪外国語大学附属図書館 概要 1998、大阪外国語大学附属図書館 自己点検・評価報告書、国立大学法人 大阪外国語大学 附属図書館利用アンケート実施結果報告書、平成18年度大阪大学附属図書館 年次報告 自己点検評価報告書、大阪大学図書館報 Vol.42 No.1～2

大阪大学大学院文学研究科・文学部

平成20年度 学生便覧 2008～2009、平成20年度シラバス(講義概要)2008～2009 学部一要約版、平成20年度 シラバス(講義概要)2008～2009 博士前期・後期一要約版、Bulletin No.55～56、大阪大学大学院文学研究科紹介 2008-2009、大阪大学文学部 2008-2009、平成20年度 授業時間割表 文学部、平成20年度 博士前期課程・修士課程 授業時間割表、平成20年度 博士後期課程 授業時間割表

大阪大学大学院人間科学研究科・人間科学部

平成20年度 学生便覧、大阪大学人間科学部 公開講義 ボランティア人間科学のいまを語る 2008年度受講案内、OIE Bulletin No.7 大阪大学大学院人間科学研究科・人間科学部国際交流室ニュースレター、大阪大学大学院人間科学研究科・大阪大学人間科学部 2007年度 部局自己評価報告書、大阪大学人間科学部 2008 学部案内、大阪大学大学院人間科学研究科 2008 案内、元祖 人間科学 説明会(パンフレット)、人間科学部 オープンキャンパス 2006～2008(パンフレット)、大阪大学大学院人間科学研究科 社会人学生募集 平成20年度(チラシ)、大阪大学人間科学部・大阪大学大学院人間科学研究科 求人のための案内、大阪大学人間科学部・大阪大学大学院人間科学研究科 求人のための案内 2006～2008、学部学生の「学習・生活環境」に関する調査 報告書 2006年度、平成18年度～19年度インターンシップ報告書、大阪大学大学院人間科学研究科 早わかりよくある質問Q&A in 阪大 社会人入学生の方へ(パンフレット)、大阪大学大学院人間科学研究科 大学院説明会等(ポスター)

大阪大学外国語学部

大阪外国語大学概要 平成19年度版、OUFS No.5 大阪外国語大学広報誌

大阪大学大学院法学研究科・法学部

高等司法研究科

法学研究科通信No.5、平成20年度 学生ハンドブック 法学部、平成20年度 法学部授業科目時間割、平成20年度 学生ハンドブック 大阪大学大学院法学研究科、平成20年度 法学研究科授業科目時間割、大阪大学法学部 2009 入学案内、大阪大学大学院法学研究科 2009(案内パンフレット)、2008年度より 知的財産法プログラム創設(チラシ)、平成18年度 外部評価報告書、大阪大学大学院高等司法研究科、2008年度授業時間割表、平成20年度 学生ハンドブック 大阪大学大学院高等司法研究科、法科大学院 大阪大学大学院高等司法研究科 2008(案内パンフレット)、「ベンチャー社会と法」特別公開講義「法律事務所の立ち上げ」(チラシ)、公開講義「TOB実務の最前線」(チラシ)「金融資本市場の動向と金融商品取引法の改正について」(チラシ)「望まれる法曹人・マスコミの視点」(チラシ)「知的経営時代におけるリーダーシップ(スポーツ編)」(チラシ)「通信産業の動向と法体系の在り方」(チラシ)「企業買収の最前線」(チラシ)「意匠制度の概要と課題」第2回(チラシ)「意匠制度の概要と課題」(チラシ)「知的資産を活用した経営と法」(チラシ)、特別公開講座 知的財産の潮流「著作権制度における今日の課題」

大阪大学大学院理学研究科・理学部

大阪大学大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 年次報告書 2002～2007、大阪大学大学院理学研究科物理学専攻・宇宙地球科学専攻 平成21年度入学案内資料、大阪大学大学院理学研究科 物理学専攻 平成17年度～平成18年度 年次報告書、大阪大学理学部物理学・大学院理学研究科物理学専攻紹介、大阪大学理学部紹介 2008、大阪大学大学院理学研究科紹介 2008、平成17～19年度 理科と情報数理の教育セミナー 報告書、大阪大学大学院理学研究科・理学部 外部評価のための資料 平成19年、大阪大学大学院理学研究科・理学部 外部評価のための資料「研究業績リスト」平成19年、大阪大学大学院理学研究科・理学部 外部評価報告書 平成20年、大阪大学大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 平成21年度博士前期課程 第2次募集 入学案内資料、早稲田大学理工学部百年誌通史、早稲田大学理工学部百年誌写真史、平成15年度～平成19年度私立大学学術研究高度化推進事業 学術フロンティア推進事業研究成果報告書、ベトナム語司法通訳翻訳ハンドブック、一座建立 千里ライフサイエンス振興財団の歩み 1990～2008

大阪大学大学院医学系研究科・医学部

平成20年度 保健学専攻履修要覧、平成20年度 医学部保健学科授業時間割表、平成20年度 医学系研究科保健学専攻授業時間割表、平成20年度 保健学

専攻履修要覧(がんプロフェッショナルコース用)、平成20年度入学者用 履修要覧、21世紀を翔る医療スペシャリスト 2009 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 (パンフレット)

大阪大学大学院歯学研究科・歯学部

平成21年度大阪大学大学院歯学研究科博士課程学生募集要項、平成21年度大阪大学歯学部3年次編入学生募集要項・入学案内、平成20年度大阪大学歯学部教育要項、平成21年度学生募集要項、概要2007-2008 大阪大学大学院歯学研究科・歯学部・歯学部附属病院・歯学部附属歯科技工士学校、大阪大学大学院歯学研究科等研究業績目録 2001～2005、大阪大学歯学部 (パンフレット)、大阪大学歯学部附属病院矯正科(リーフレット) (パンフレット)、大阪大学教職課程ブックレット①教職課程への招待 教育職員免許状取得ガイド ③「保健室の先生」になろう 養護実習ノート、平成20年度 大阪大学大学院高度副プログラム

大阪大学大学院工学研究科・工学部

大阪大学大学院工学研究科・工学部 要覧2008、要覧2008(英語版)、要覧2008(リーフレット)

大阪大学大学院基礎工学研究科・基礎工学部

平成20年度 大学院学生便覧、第30回(平成20年度)公開講座テキスト「未来を拓く先端科学技術」、平成19年度 理科と情報数理の教育セミナー報告書、平成19年度 基礎工学研究科システム創成専攻 学外者による評価と提言、平成20年度学生便覧、大阪大学基礎工学部 2009 案内

大阪大学大学院言語文化研究科

言文だより No.8～15、No.17～25、大阪大学言語文化部基礎調査報告、平成14年度 国立7大学外国語教育連絡会合同シンポジウム 外国語教育におけるCALL授業の位置づけ報告書、平成15～16年度 TOEFL-ITP実施に関する報告書 一結果と分析、平成19～20年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座「教員のための英語リフレッシュ講座」、平成15～16年度大阪大学言語文化部・大学院言語文化研究科公開講座「教員のための英語リフレッシュ講座」(パンフレット)、平成17～20年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座「教員のための英語リフレッシュ講座」(パンフレット)、外部評価委員会報告書 2006年3月

大阪大学大学院国際公共政策研究科

OSIPP NEWS LETTER 2008年夏号(No.47)、OSSIPP ニュースレター 2008年春号、CURSE HANDBOOK 2008、大阪大学大学院国際公共政策研究科2008/2009、平成20年度 授業時間割表M-1・M-2・D-1・D-2、平成20～21年度大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程学生募集要項、平成21年度大阪大学大学院国際公共政策研究科博士前期課程学生募集要項、OSIPP ニュースレター No.48

大阪大学大学院情報科学研究科

大阪大学大学院情報科学研究科 年報 第3号

大阪大学大学院生命機能研究科

大阪大学大学院生命機能研究科 2007-2008概要、平成20年度 学生便覧

大阪大学微生物病研究所

大阪大学微生物病研究所 1992～1993・1997・1999～2000、国立大学法人大阪大学微生物病研究所 2005～2008、Osaka University Research Insititute for Microbial Diseases 2005～2007、大阪大学微生物病研究所外部点検評価報告書 1999・2004、大阪大学微生物病研究所外部点検評価用資料、ECC-ERI Thailand-Research Collaboration Center on Emerging and Re-emerging Infection(リーフレット)、大阪大学遺伝情報実験施設 1995・1996、大阪大学遺伝情報実験センター 2001・2004

大阪大学産業科学研究所

大阪大学産業科学研究所 東北大学多元物質科学研究所 新産業創造物質基盤技術研究センター要覧(物質基盤センター)、産研ニュースレター Vol.35～36、MEMOIRS OF THE Institute of Scientific and Industrial Research 2008

大阪大学社会経済研究所

第5回行動経済学研究センターシンポジウム 自信過剰を経済学する(ポスター)、大阪大学社会経済研究所活動報告 2007

大阪大学接合科学研究所

大阪大学接合科学研究所 2007年度年次報告、大阪大学接合科学研究所 スマートプロセス研究センター2008(パンフレット)、大阪大学接合科学研究所 2008(パンフレット)、阪大接合研ニュースレター 第23号

大阪大学環境安全研究管理センター

環境安全ニュース No.34・35

大阪大学総合学術博物館

大阪大学総合学術博物館 年報 2007

大阪大学大学教育実践センター

大阪大学教育実践センター ニュースレターNo.16～19、共通教育だより No.33、創造と実践 No.7 2008、大阪大学 第三回 全学FDセミナー、大阪大学 全学共通教育 学生による授業評価アンケート 結果と分析 2004-2006年度実施分 実施報告書、外部評価報告書、大阪大学教育実践センター(パンフレット)、平成20年度全学共通教育科目 授業概要Ⅰ(シラバスⅠ)授業概要Ⅱ(シラバスⅡ)履修の手引、平成20年度授業時間割表 1年次(第Ⅰセメスター)用 2年次(第Ⅱセメスター)用、大阪大学大学教育実践センター(パンフレット)

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

平成20年度 履修ガイドブック シラバス、大阪大学コミュニケーションデザインセンター(リーフレット)、外部評価報告書

大阪大学金融・保険教育研究センター

平成21年度4月 大阪大学金融・保険教育研究センター科目等履修生高度プログラム「金融・保険」募集要項

大阪大学世界言語研究センター

大阪大学世界言語研究センター(リーフレット)

大阪大学核物理研究センター

REPORT OF THE INTERNATIONAL REVIEW COMMITTEE FOR THE RESEARCH CENTER FOR NUCLEAR PHYSICS OSAKA UNIVERSITY、大阪大学核物理研究センター(パンフレット)英文、大阪大学核物理研究センター(パンフレット)

大阪大学サイバーメディアセンター

大阪大学サイバーメディア・フォーラム No.9

大阪大学レーザーエネルギー学研究センター

大阪大学レーザーエネルギー学研究センター外部評価委員会報告書(平成17年度)、大阪大学レーザーエネルギー学研究センター 要覧「レーザーエネルギー学の世界」、Seven Stars of ILE レーザー研ニュース No.260～268、大阪大学レーザーエネルギー学研究センター 外部評価委員会 報告書

旧制浪速高等学校同窓会

同窓会報 第49号、侍陵 第11号 創立80周年記念号

大西愛(大阪大学出版会)

尼崎市史 第1～7・10巻、尼崎の戦後史、大漢和辞典縮写版巻1～12・索引、兵庫県百年史、大阪アーカイブス 特集号No.3、史料保存と文書館学、史料館・文書館学への道、記録史科学と現代、東京都公文書館所蔵行政文書目録・学事編 明治36年

村田路人(大阪大学)

大阪大学文学部 50年の歩み 1998

辻 義浩(大阪大学)

大阪帝国大学創立史、久留米藩大阪蔵屋敷と蛸の松 福岡県地域史研究 第一号 抜刷

阿部武司(大阪大学)

刑事法における紛争の予防と修復(チラン)、言文だより No.25、新聞記事に見る阪大Topics (2007.4～2008.3)、大阪大学経済学部同窓会名簿 2001・2007年版、New Research Horizons of the History of European Integration 2008 英文、生産と技術 Vol.60 No.4 創刊60周年記念号・Vol.61 No.1、大阪大学 未来医療センター 5周年記念誌、ビジュアル版 神戸大学物語、Machikane Festival #49 第49回 まちかね祭、サステナ 第9号、大阪大学図書館報 Vol.42 No.1、大阪大学文学部 2008-2009、大阪大学大学教育実践センター ニュースレター No.20・22、大阪大学 第三回 全学FDセミナー 2007、大阪大学大学院文学研究科 年報 2008 教育・研究(2006-2007年度)、大阪大学附属図書館 要覧 2005/2006、民族紛争の背景に関する地政学的研究Vol.1・2、阪大ウォーカー No.112～114、Campus Life 創刊号、プレミアムシンポジウム予稿編・最終報告書 リスク管理教育が導く持続可能、ANNUAL REPORT OF OSAKA UNIVERSITY Academic Achievement 2004-2005・2007-2008、環境リスクマネージャ養成プログラム、大阪大学環境報告書 2008ダイジェスト版、阪大経済学アラカルト、2008大阪大学経済学部、創造と実践 第7号、ECONOMICS AND BUSINESS 2008、OSAKA JAPAN PROSPECTUS 2007、College of Europe、FEB Research Fall 08、ベトナム語 司法通訳翻訳ハンドブック、阪大 ニュースレター No.41・42、大阪大学サイバーメディア・フォーラム No.9、住友本社経営史 上・下巻、留学生相談室 室報第28号

菅 真城(大阪大学)

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報 No.83、大阪大学経済学第58巻 第3号、大阪大学職員録

業務日誌(抄) (2008年8月～2009年2月)

2008年

- ・8月8日 旧制浪速高等学校同窓会役員と会談。
- ・8月18日 全学共通教育「大阪大学の歴史」の教科書の執筆依頼文を送付。
- ・8月22日 「部局刊行物の寄贈について(依頼)」を各部局長宛に送付。
- ・8月29日 辻義浩事務補佐員死亡退職。脇田修名誉教授(文)のビデオ撮影(大阪歴史博物館)。
- ・9月4日 国際公共政策研究科床谷研究室岡村氏来室。硬式庭球部記念誌に使用する写真2点を貸し出し。
- ・9月5日 故作道洋太郎名誉教授蔵書のうち2250冊を、財団法人日本科学協会を介して中華人民共和国・黒竜江東方学院へ寄贈。
- ・9月10日 三谷研爾文学研究科教授・廣川和花総合学術博物館助教来室。文学研究科内共同研究「デジタルアーカイブ化による大阪大学文学部視覚史料の基礎研究」におけるデータベース化のための写真貸し出し。是永駿大阪外国語大学名誉教授のビデオ撮影(外国語学部長室)。
- ・9月17日 文書館について西田理事と打ち合わせ。
- ・9月25日 文書館設置準備室の資料保存スペースについて西田理事・杉本外国語学部長・森相外国語学部事務長と協議。
- ・9月30日 理学研究科の法人文書保管状況を調査。
- ・10月6日 微生物病研究所の法人文書保管状況を調査。
- ・10月8～11日 菅、沖縄出張。沖縄県公文書館を視察し、シリーズ別評価選別について調査。全国大学史資料協議会2008年度総会ならびに全国研究会に出席。
- ・11月1日 中内加奈子事務補佐員着任。
- ・11月11日 菅、奈良出張。全国歴史資料保存利用機関連絡協議会平成20年度第2回研修・研究委員会会議に出席。
- ・11月12～14日 菅、奈良出張。全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国(奈良)大会及び研修会に出席。

- ・11月14日 東北大学百年史編纂室・吉葉恭行氏より、大学院特別研究生関係の簿冊の所蔵について照会。
- ・11月17日 浪高同窓会・松浦実氏来室、資料受贈。
- ・11月20日 琉球大学教育学部の立石庸一評議員・辻雄二教授、文書館設置の調査のため来室。
- ・11月27日 外国語学部長に、総合計画室長・文書館設置準備室長名で箕面キャンパスE棟2階のSCS教室(105㎡)借用依頼文書を出す。
- ・12月1日 西田理事と文書館設置構想について打ち合わせ。
- ・12月3日 第16回文書館(仮称)設置検討ワーキングを開催。
- ・12月10日 大塚穎三名誉教授(教)のビデオ撮影(経済学研究科)。
- ・12月25日 滝澤総合計画室員と文書館について打ち合わせ。

2009年

- ・1月14日 国立療養所邑久光明園長・牧野正直氏より大阪皮膚病研究会関係文書を受贈。
- ・1月20日 滝澤総合計画室員と文書館について打ち合わせ。
- ・1月22日 第17回文書館(仮称)設置検討ワーキングを開催。
- ・1月24～25日 菅東京出張。特色ある大学教育支援プログラム採択記念シンポジウムⅣ「自校教育の到達点と今後の課題」(立教大学)に出席。慶應義塾創立150年記念「未来をひらく福沢諭吉展」(東京国立博物館)を視察。
- ・2月18日 文学研究科内共同研究「デジタルアーカイブ化による大阪大学文学部視覚史料の基礎研究」におけるデータベース化のための写真を貸し出し。

『大阪大学の歴史』が刊行されました



編著者 高杉英一
阿部武司
菅 真城
発行所 大阪大学出版会
発行日 2009年3月31日
定 価 2100円
(本体2000円＋税)
214ページ
ISBN978-4-87259-285-6

本誌に掲載した阿部武司「大阪大学の歴史から学ぶもの」にありますように、全学共通教育「大阪大学の歴史」の教科書として、本書が刊行されました。

大阪大学文書館設置準備室員名簿

室 長 阿部武司
(経済学研究科長)
講 師 菅 真城
事務補佐員 田村 綾
中内加奈子

大阪大学文書館設置準備室だより 第4号

発行日 2009年3月31日
編集発行 大阪大学文書館設置準備室
〒560-0043
大阪府豊中市待兼山町1-32
大阪大学サイバーメディアセンター気付
Tel. (06) 6850-6269
Fax. (06) 6850-6274
E-mail kan@hpc.cmc.osaka-u.ac.jp
<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/facilities/archives/top.html>